

こちらのアンケートは令和6年4月に施行された建設業に対する時間外労働の上限規制や「工期に関する基準」がどれだけ浸透しているかを確認するものです。

このアンケートでいただいた回答をもとに建設業労働時間削減推進協議会や建設業者向け説明会を行わせていただきます。なお、内容については公表させていただくことがありますが、企業が特定されるような公表は行いませんし、各社の回答内容も外部に漏らすことはありません。

ぜひともご協力賜りますようお願い申し上げます。

貴社について

1. 貴社はどの立場で現場に参入することが一番多いですか

- 1 元請
- 2 一次下請
- 3 二次下請
- 4 三次以降の下請

2. 貴社が主に担当する（貴社で年間工事高が最も高い）のはどのような工事ですか

土木工事

1 道路工事	2 河川工事	3 砂防工事	4 橋梁工事	5 上下水道工事
6 海洋土木工事	7 法面工事	8 その他 (自由記述)		

建築工事

9 鉄筋造・ 鉄骨造建築	10 木造建築	11 その他 (自由記述)
-----------------	---------	------------------

その他工事

12 設備工事	13 電気工事	14 その他 (自由記述)
---------	---------	------------------

労働条件関係について

(労働者0人の場合は問3～15まで回答は不要です。)

3. 労働者の始業・終業時間をどう把握していますか（複数回答可）

- 1 タイムカードやICカード
- 2 使用者が確認、記録
- 3 労働者の自己申告（日報への時間記入など）
- 4 出勤簿へのチェックなどで出勤日のみ確認
- 5 その他（ ）
- 6 特に確認していない（理由：自由記述）

4. 過去1年間に事業場内で労働者が行った最長の時間外・休日労働時間は月に何時間ですか。時間数をご記入ください。
(自由記述)

※ 「時間外・休日労働時間数」というのは休憩を除き週40時間を超えて働いた時間数のことを指します。

例えば、カレンダー上の日数が31日である月の労働時間数が200時間であったとき、 $200 - 177 = 23$ 時間が「時間外・休日労働時間数」となります。

カレンダー上の日数が30日の時は171時間を、29日の時は165時間を実際の労働時間数から引いてください。

5.	<p>問4で「0時間」と回答した方以外にお伺いします。一番時間外・休日労働時間の長い労働者の職種は何ですか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現場の責任者・技術者・管理者 2 選択肢1以外の現場作業員 3 営業 4 総務 5 その他（自由記述）
6.	<p>問4で「0時間」と回答した方以外にお伺いします。時間外労働・休日労働や深夜労働に対し法律の基準以上の割増賃金を支払っていますか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 支払っている 2 時間外労働について2割5分以上の割増賃金を支払っていない 3 月60時間以上の時間外労働について5割以上の割増賃金を支払っていない 4 休日労働について3割5分以上の割増賃金を支払っていない 5 深夜労働について2割5分以上の割増賃金を支払っていない
7.	<p>問4で「0時間」と回答した方以外にお伺いします。その原因は何だと思われますか（複数回答可）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 時期によって注文が多くなるから（繁忙期） 2 個人の業務が多いから 3 突発的に受注が増えたから 4 工期の設定に余裕がないため（そのほか発注者の都合のため） 5 その他（自由記述）
8.	<p>問4で80時間以上の時間数を回答した方にお伺いします。時間外・休日労働が80時間以上の労働者に対しどのような健康確保措置をとっていますか（複数回答可）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 時間外・休日労働の削減 2 産業医等による面接指導 3 保健師等のスタッフによる助言指導、保健指導 4 心と体の相談窓口の利用 5 法定外の健康診断 6 代償休日または特別休暇の付与 7 勤務間インターバルの確保 8 連続した年休取得促進 9 配置転換 10 その他（自由記述） 11 定めていない（理由自由記述）
9.	<p>令和5年度の間、災害時の復旧・復興の対応を全体でどれくらい行いましたか。時間数をお答えください（自由記述）。</p> <p>また、その内容は主にどのような内容でしたか。（複数回答可）</p> <p>（この設問は時間外・休日労働の上限規制の例外となる「災害時における復旧及び復興の事業」を前提としたものです。「災害時における復旧及び復興の事業」は、工事の名称等にかかわらず、特定の災害による被害を受けた道路や鉄道の復旧、仮設住宅や復興支援道路の建設などの復旧及び復興の事業を対象とするもので、複数年にわたり施工されるものを含みます。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法の適用を受ける災害復旧事業（関連事業等を含む。） 2 国や地方自治体と締結した災害協定に基づく災害の復旧の事業 3 維持管理契約内で発注者の指示により対応する災害の復旧の事業

	<p>4 災害時の復旧・復興工事を行ったが時間数を把握していない</p> <p>5 該当なし</p>
10.	<p>時間外・休日労働に関する協定届（36協定）は締結していますか、また届け出ていますか</p> <p>1 2024年4月以降に、改正された様式で届出ている</p> <p>2 2024年4月以前に、改正された様式で届出ている</p> <p>3 2024年4月以前に、改正前の様式で届出ている</p> <p>4 届出していない（理由自由記述）</p>
11.	<p>問10で1か2と回答した方にお伺いします。どの様式で届け出ましたか。</p> <p>1 9号（月45時間以内・災害復旧対応なし）</p> <p>2 9号の2（月45時間超・災害復旧対応なし）</p> <p>3 9号の3の2（月45時間以内・災害復旧対応あり）</p> <p>4 9号の3の3（月45時間超・災害復旧対応あり）</p>
12.	<p>令和5年度に以下のような労働基準法第33条による届（非常災害等の理由による労働時間延長・休日労働の届）を出すような業務がありましたか（複数回答可）。もしあれば時間数もお答えください。</p> <p>1 震災対応（ 時間）</p> <p>2 豪雨災害対応（ 時間）</p> <p>3 雪害対応（ 時間）</p> <p>4 その他（自由記述 時間）</p> <p>5 あったが時間数を把握していない</p>
13.	<p>2024年4月から施行される時間外労働の上限規制を受け、時間外・休日労働を削減する対応を取りましたか</p> <p>1 取った</p> <p>2 特に取っていない</p>
14.	<p>問13で1と回答した方にお伺いします。どのような対策を取りましたか（複数回答可）。</p> <p>1 発注者に時間外労働の削減を前提とした工期の設定を求めた</p> <p>2 各労働者の業務量を確認し、仕事の割り振りを調整した</p> <p>3 変形労働時間制を導入した</p> <p>4 その他（自由記述）</p>
15.	<p>問13で2と回答した方にお伺いします。その理由はなぜですか（複数回答可）</p> <p>1 もともと時間外労働が45時間以内だったから</p> <p>2 取れるような人員的・金銭的余裕がないから</p> <p>3 どのように対策を取ればいいのかわからないから</p> <p>4 その他（自由記述）</p>
<p>工期について</p> <p>（以降の設問については皆さんご回答をお願いします。）</p>	
16.	<p>令和5年4月以降で受けた注文に、工期が短すぎたり請負代金が十分でないなど問題のあった注文はありますか。</p> <p>1 ある</p> <p>2 ない</p>
17.	<p>問16で1と回答した方にお伺いします。どのような発注者の受注に対し問題があると思われましたか（複数回答可）</p> <p>1 国</p> <p>2 県</p> <p>3 市町村</p> <p>4 民間（注文者）</p>

	5 民間（元請・上位の請負）
18.	<p>問 16 で 1 と回答した方にお伺いします。どのような問題があると思われましたか。問 16 で選択した発注者それぞれについてお答えください。（複数回答可）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 十分な工期が与えられていない 2 十分な請負代金でない 3 その他（自由記述）
19.	<p>問 16 で 1 と回答し、問 18 で 1 と回答した方にお伺いします。工期が十分でないと思うのはどういう理由からですか（複数回答可）。問 17、問 18 で回答した発注者それぞれについてお答えください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 工期に業者の休日や悪天候・猛暑日などの作業不能日が考慮されておらず余裕がないため 2 週休二日制を前提としていないため 3 残業することを前提とした工期が設定されているため 4 作業時間が限られる・搬入経路が限られるなどの諸事情が考慮されていないため 5 工期の途中で急に納期が前倒しになることがあるため 6 その他（自由記述）
20.	<p>問 16 で 1 と回答し、問 18 で 2 と回答した方にお伺いします。請負代金が十分でないと思うのはどういう理由からですか（複数回答可）。問 17、問 18 で回答した団体それぞれについてお答えください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自社から出す必要経費等を考慮した見積もりが反映されていないから・見積もりを出させてもらえないから 2 最賃の上昇分や自社の賃上げに伴う労務費の上昇分が反映されていないから・反映するよう要請しても反映してもらえないから 3 発注者都合で契約が変更したことにより生じた追加経費が計上されない 4 昨今の資材価格の高騰が反映されていない 5 その他（自由記述）
21.	<p>貴社が下請と請負契約を結んだり、外部に工事を発注する立場になった場合、十分な工期・請負代金のためにどのような対応をとっていますか（複数回答可）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 業者の休日や悪天候・猛暑日などの作業不能日が生じることを念頭に入れ工期を設定している 2 週休二日制・残業ゼロを前提として工期を設定している 3 作業時間や搬入経路に制限があるなどの諸事情を考慮して工期を設定している 4 工期の途中で予定を前倒しさせないようにしている 5 請負業者に見積もりを出させ、それをもとに請負代金を決めている 6 自社の都合で契約内容が変更になった場合に追加経費を計上している 7 資材価格の高騰や労務費の上昇分を考慮に入れ請負代金を決めている 8 その他（自由記述） 9 十分な工期・請負代金のために行っていることは特にない・できない
22.	<p>問 21 で 9 と回答した方にお伺いします。理由はなぜですか。（複数回答可）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対応できるほど自社に余裕がないから 2 どのような対応をとるべきかがわからないから 3 緊急で対応しなければいけない工事が多いから 4 現場に入る時期が決まっていて時間外労働や休日労働は前提としていないから 5 その他（自由記述）
その他	
23.	<p>今後、記入いただいたアンケート結果に基づき、説明会を開催する予定ですが、その際に特に説明をして欲しいことがあれば記入してください。（自由記述）</p>

